

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
茨木市	茨木市	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度

1 目標の達成状況
(生活排水処理)

指 標	現 状 《平成29(2017)年度》	目 標		実績(見込み)	
		《令和6(2024)年度》A	《令和6(2024)年度》B	実績B / 目標A	
総人口	281,478	283,884	286,164	-	
公共下水道	汚水衛生処理人口	276,486	281,654	282,129	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	98.2%	99.2%	98.6% 40.0%	
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0% -	
合併処理浄化槽	汚水衛生処理人口	1,142	894	1,146	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.4%	0.3%	0.4% 0.0%	
未処理人口	汚水衛生未処理人口	3,850	1,336	2,889	
	汚水衛生未処理人口率	1.4%	0.5%	1.0% 44.4%	

※目標未達成の指標のみ記載

2 目標が達成できなかった要因

<p>(1) 公共下水道 公共下水道に係る目標を達成できなかった要因は、汚水整備としては概成している中、下水道未接続家屋の接続切替が進まなかったこと等によるものです。</p> <p>(2) 合併処理浄化槽 合併処理浄化槽に係る目標を達成できなかった要因は、公共浄化槽等整備推進事業による実施基数が計画基数を下回ったことによるものです。これは想定よりも浄化槽の設置希望件数が少なかったこと、設置希望された場合でも現地調査の結果、敷地状況や建築物の法適合性の観点から設置できなかったことによるものです。また、公共下水道区域内で合併処理浄化槽から公共下水道への接続切替が想定よりも少なかったことも影響しています。</p> <p>(3) 未処理人口 未処理人口に係る目標を達成できなかった要因は、公共下水道及び合併処理浄化槽の目標未達成によるものです。</p>
--

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和13(2031)年度まで ※次期生活排水処理基本計画の中間目標年度の翌年度である令和13(2031)年度に設定

令和7(2025)年度に策定予定の次期生活排水処理基本計画に基づき、生活排水未処理箇所における整備を進め、計画期間中に社会情勢の変化や各施策の進捗状況などを検証し、必要に応じて生活排水処理基本計画の目標を見直します。公共下水道事業については、引き続き未接続家屋の接続切替の促進に努めます。また、公共浄化槽等整備推進事業については、一部地域で公共下水道事業への期待から十分な理解と協力が得られておりませんでした。平成25(2013)年の事業着手から10年以上経過し、未整備箇所への訪問活動やアンケート調査を実施して、次第に制度への理解も浸透してきました。引き続き設置希望者の募集をウェブページや広報誌等を通じて行い、必要に応じて未整備箇所の現地調査や訪問活動を行い、更なる普及促進に努めます。

(都道府県知事の所見)